

【明治15(1882)年写真屏風】



この「写真屏風」は約130年前の函館の西部地区を撮影したものです。

明治、大正、昭和と何度も大火に見舞われましたが、現存している遺愛女学校や函館ハリストス正教会などが映し出されています。また、焼失したカトリック教会、取り壊された函館奉行所、函館病院、三菱倉庫など当時の姿が残っています。

また、明治12年の大火後に拡張されて西部地区の防火遮断帯となっている造成当初の二十間坂も見えます。

港には数多くの洋船に混じって「北前船」もまだこの時代には就航していたようです。

130年前の函館は開拓使が廃止され、北海道が独自に発展を遂げようとする時期でもあります。

そんな中でこれだけの規模の町並みが形成され人々の生活が営まれていたことは、とりもなおさず函館という都市の原形が映し出されているということです。

【案内図】



【利用案内】

開館時間 午前10時より午後3時まで

休館日 毎週火曜日・水曜日
冬期は10月から3月まで

入館料 大人・高校生 ￥100
小学・中学生 無料



はこだて町並み資料館

hakodate townscape resource center

〒040-0054 函館市元町10番9号

TEL & FAX 0138-83-1186

2018年7月発行 デザイン：彩紋

伝統的建造物



旧三浦家住宅

はこだて町並み資料館

hakodate townscape resource center

